

(別添)

ダイオキシン類簡易測定法(土壌、底質) 応募様式

1. 応募機関

応募機関	名称					代表者氏名		
	住所	〒						
	担当者	所属					氏名	
		連絡先	TEL			FAX		
			E-mail					
	応募測定方法との関係	当該測定方法の開発者 / 機関 当該測定方法の開発者 / 機関から応募の依頼を受けた機関 (開発者 / 機関名:) 上記以外の者 / 機関()						
	環境省ダイオキシン類環境測定調査受注資格					有(, 年度)	無	
特定計量証明事業者認定					有(認定年月: 年 月)	無		
共同応募機関	名称					代表者氏名		
	住所	〒						
	担当者	所属					氏名	
		連絡先	TEL			FAX		
			E-mail					
	応募測定方法との関係	当該測定方法の前処理方法の開発者 / 機関 当該測定方法の前処理方法の開発者 / 機関から応募の依頼を受けた機関(開発者 / 機関名:) 当該測定方法の前処理実施可能者 / 機関 上記以外の者 / 機関()						
	環境省ダイオキシン類環境測定調査受注資格					有(, 年度)	無	
特定計量証明事業者認定					有(認定年月: 年 月)	無		
協力体制 (分担)	応募機関	抽出	クリーンアップ	定量	データ取りまとめ	その他()		
	共同応募機関	抽出	クリーンアップ	定量	データ取りまとめ	その他()		

<記入上の注意事項>

- ・ がある欄については、該当するものを塗りつぶし、必要に応じ、内容を()に記入してください。
応募機関、共同応募機関の会社概要等を添付してください。
なお、環境省が平成16年12月27日～17年1月28日の間に募集した「廃棄物焼却炉からの排出ガス、ばいじん及び燃え殻に含まれるダイオキシン類の簡易測定法の公募」に応募した機関については、会社概要等の添付を省略しても構いません。

2. 測定方法

名称						
分類	ダイオキシン類がアリール炭化水素受容体に結合することを利用した方法 ダイオキシン類を抗原とする抗原抗体反応を利用した方法 その他()					
媒体	土壌、底質				注1	
	他の媒体における応募実績		有、無			
概要	測定方法の内容・原理				注2	
	フロー図	土 壌			注3	
		底 質				
	標準物質名				注4	
	検量線の作成方法					
	検出下限値及び定量下限値の設定方法					
	定量測定範囲	アッセイ	/well (試料量: μl/well)		注5	
		土 壌	/g (試料量: g)			
		底 質	/g (試料量: g)			
	毒性等量への補正方法	標準試料				注6
		土 壌				
		底 質				
	主な用途と測定実績	媒 体	用 途	実績(検体数) 年 月 ~ 年 月		注7
応募機関による測定				他の機関による測定		
試料採取 ~ 定量		抽出 ~ 定量	クリーニング ~ 定量			
土 壌		()	()	()	()	
底 質		()	()	()	()	
()内は市販/受託検体数		()	()	()	()	
必要な設備 試薬等				注8		
各工程の留意事項	試料採取			注9		
	乾 燥					
	抽 出					

		クリーンアップ						
		定量						
	環境汚染防止、安全上の配慮事項						注 10	
	精度管理上の留意事項						注 11	
特徴	リガントに対する反応性						注 12	
	平均測定 所要時間	媒体	土 壤		底 質		注 13	
		検体数	1検体	20検体	1検体	20検体		
		全体	時間	時間	時間	時間		
		内 訳	乾 燥					
			抽 出					
			クリーンアップ					
			定 量					
			データ処理					
	備考							
	同時測定 可能検体数 ()内は1セット の装置におけ る検体数	媒体	土 壤		底 質		注 14	
		乾 燥	()		()			
		抽 出	()		()			
		クリーンアップ	()		()			
		定 量	()		()			
		備考	()		()			
	平均測定 費 用 (1検体 あたり)	媒体	土 壤		底 質		注 15	
		検体数	1検体	20検体	1検体	20検体		
		全体						
		内 訳	乾 燥					
抽 出								
クリーンアップ								
定 量								
備考								
キット市販価格	円/キット(測定可能検体数: 検体/キット)							
その他簡易性に係る事項						注 16		

高分解能 GC/MS 法 との比較データ	比較データ			測定データ		由 来	出 典	注 17		
				高分解能 GC/MS 法	応募測定方法					
		標準 試料	単位	ng-TEQ/ml						
			1							
			2							
		土壌	単位	ng-TEQ/g						
			1							
			2							
		底質	単位	ng-TEQ/g						
			1							
			2							
グラフ・ 相関係数	標準試料		(相関係数:)							
	土壌		(相関係数:)							
	底質		(相関係数:)							
実用化に関する状況	市販 / 受託、 近く市販 / 受託予定(予定日: 年 月) 開発中									
特許・実施権等	特	出願・登録 状況	出願中(対象国:)出願日 No.				注 18			
			登録済(対象国:)登録日 No.							
	許	特許権者/出願人								
		発明の名称								
	発明の概要									
	実 施 権	実施許諾者								
		実施権者								
		実施権の範囲		製造権 販売権 卸販売件 使用权 貸渡し権 輸入権 再実施許諾権 その他()						
		態様		独占的实施権 非独占的实施権						
		品質保証約定		有() 無						
		実施の時期・ 数量等		実施権の有効期間 : ()						
				数量制限: 有() 無						
				地域制限: 有() 無						
		ライセンス対価								
実施権者の改良 発明の扱い										
備 考										

	再実施許諾者		
	再実施権者		
	再実施権の範囲	製造権 販売権 卸販売件 使用権 貸渡し権 輸入権 その他()	
	態様	独占的実施権 非独占的実施権	
	品質保証約定	有() 無	
	実施の時期・数量等	再実施権の有効期間 : ()	
		数量制限: 有() 無	
		地域制限: 有() 無	
	ライセンス対価		
	再実施権者の改良発明の扱い		
備考			
非差別的かつ合理的条件における実施許諾の可否		可 否 不要	
中立機関における実証試験の可否	可 条件付きで可(条件:) 否(理由:)		
現段階で判明している課題			
備考、特記事項			

<記入上の注意事項>

- ・ がある欄については、該当するものを塗りつぶし、必要に応じ、内容を()に記入してください。
- ・ 欄内に書ききれない場合は、適宜欄を増やすか、又は別紙に記入の上添付してください。

注1:「他の媒体における応募実績」の欄には、環境省が平成16年12月27日～17年1月28日の間に募集した「廃棄物焼却炉からの排出ガス、ばいじん及び燃え殻に含まれるダイオキシン類の簡易測定法の公募」へ応募した測定方法の場合のみ、有の を塗りつぶしてください。

注2:レポータージーンアッセイ法の場合は、レポーター遺伝子導入細胞及びレポーター遺伝子の種類、イムノアッセイ法の場合は、抗原物質、抗体の種類、二次抗体の標識物質も併せて記入してください。

注3:試料採取から記述してください。なお、各媒体共通事項はまとめて記入しても構いません。

注4:検量線作成に用いる物質を記入してください。

注5:「アッセイ」の欄には、wellあたりの定量範囲及びwellにチャージする試料溶液量を記入してください。また、各媒体の欄には、実試料あたりの定量範囲及びその際に供する実試料量を記入してください。なお、適宜単位を付けてください。

注6:実測した数値を毒性等量に補正する式又は係数を記入してください。

また、補正式/係数の設定にあたって用いたデータを添付してください。

なお、「標準試料」は、PCDD/DF又はPCDD/DF+Co-PCBの試薬を混合したものを指します。

他の媒体における応募実績がある応募機関の場合、「標準試料」のデータの添付を省略しても構いません。

注7:土壌、底質以外の媒体、用途についても主なものについて記入してください。

測定実績の検体数は、公募試験に参加した際の測定や研究開発の測定など市販/受注以外の測定分も

含めて記入してください。なお、()内には、そのうち、市販 / 受託した測定分を記入してください。

また、測定実績は、測定者が応募機関(共同応募機関を含む)の場合と他の機関の場合に分けて記入してください。

注 8 : 試料採取から記入してください。

なお、媒体により必要な設備、試薬等が異なる場合はその旨明記してください。

注 9 : 高分解能 GC/MS 法における操作と異なるなど各工程において、留意すべき事項があれば記入してください。

注 10 : 当該測定方法による測定を行う機関において環境汚染防止、安全を図る上で、配慮すべき事項があれば記入してください。

注 11 : 当該測定方法による測定を行う機関において精度管理を行う上で、留意すべき事項があれば記入してください。

注 12 : 交差反応性に関するデータを記入又は添付してください。なお、出典も併せて記入してください。

他の媒体における応募実績がある応募機関の場合、省略しても構いません。

注 13 : 応募機関(共同応募機関を含む)における、通常の測定条件での1検体測定する場合及び20検体測定する場合の平均的な測定所要時間を記入してください。なお、「備考」の欄には所要時間計算にあたっての条件(1検体あたりの測定回数、各工程の実施機関名等)等を記入してください。

注 14 : 応募機関(共同応募機関を含む)における、通常の測定条件での各工程の同時測定可能検体数(応募機関における測定規模)を記入してください。また、()内には、1 セットの装置あたりの検体数を記入してください。なお、「備考」の欄には同時測定可能検体数記入にあたっての条件(1検体あたりの測定回数、各工程の実施機関名等)等を記入してください。

注 15 : 応募機関(共同応募機関を含む)における、通常の測定条件で1検体測定する場合及び20検体測定する場合の1検体あたりの平均的な測定費用を記入してください。キット販売の場合も、想定される抽出、クリーンアップを含めた費用を記入してください。

「備考」の欄には費用計算にあたっての条件(人件費を含むか否か、1検体あたりの測定回数、各工程の実施機関名等)等を記入してください。なお、キットとして販売している場合は、キットの市販価格等も併せて記入してください。

注 16 : 操作の簡便性等その他簡易性に係る事項がある場合、該当事項を記入してください。

注 17 : 比較データは、試料当たりの値を単位と併せて記入してください。

「由来」の欄には、データの比較に用いた試料のダイオキシン類汚染の由来等の特徴を記入してください。

「出典」の欄には、公表論文名、「自社未公表データ」等を記入してください。

なお、他の媒体における応募実績がある応募機関の場合、「標準試料」の記入を省略しても構いません。

注 18 : 応募機関が特許権者の場合であって、実施許諾を行っている場合は、「実施権」の欄も記入してください。また、実施権者の場合であって、再実施許諾を行っている場合は、「再実施権」の欄も記入してください。

「非差別的かつ合理的条件における実施許諾の可否」の欄は、特許権者に確認の上、記入してください。可能な範囲で特許、実施権等の関係資料を添付してください。

なお、他の媒体における応募実績がある応募機関の場合、前回は応募の際に提出した関係資料の添付を省略しても構いません。

関連論文資料等技術資料を添付してください。

なお、他の媒体における応募実績がある応募機関の場合、前回は応募の際に提出した関係資料の添付を省略しても構いません。